

2017年5月17日

日立オートモティブシステムズ株式会社

「自動車技術展：人とするまのテクノロジー展 2017 横浜」において 先進運転支援システムや自動走行システムなどの技術を紹介



ブース外観イメージ

日立オートモティブシステムズ株式会社(社長執行役員&CEO:関 秀明/以下、日立オートモティブシステムズ)は、5月24日(水)から26日(金)までパシフィコ横浜にて開催される、公益社団法人自動車技術会主催の「自動車技術展：人とするまのテクノロジー展 2017 横浜」に出展します。先進運転支援システムや自動走行システムなどの技術を中心に、自動運転や電動化など、次世代車両の実現に向けた、日立グループの幅広いモビリティテクノロジー、製品・システムを紹介します。

日立オートモティブシステムズは、「安全」:衝突を避け事故を起こさない走り、「快適」:乗り心地がよくストレスがない運転、「燃費」:低燃費で環境負荷が少ない走り、「時間」:効率よく目的地に早く到着の4つのコンセプトの実現を通じて、自動運転車のさらなる価値を高めることをめざしています。

今回の展示会では、日立オートモティブシステムズが開発した、高速道での渋滞時に低速で先導車を追従する低速先導車追従走行(渋滞運転支援)などの先進運転支援システムの実証試験や、日立グループ会社のクラリオン株式会社(執行役社長兼COO:川端 敦/以下、クラリオン)と共同開発した、スマートフォンを用いて車外から遠隔で駐車を行うリモートパーキングシステムなど、自動運転を実現する先進技術を紹介します。

■出展内容

【自動運転システムコーナー】

走行中に排気ガスを出さない ZEV(Zero Emission Vehicle)の普及に向けた電動車両の進化を支えるモーターなどの電動化技術や、高度な自動走行を実現するカメラ、レーダーなどを用いた 360 度センシング技術、安全制御技術などの協調制御システムを実車大の展示台において、映像と実機を用いて紹介します。

【燃費向上エンジンシステムコーナー】

次世代の高効率エンジンマネジメントシステムとして、燃費向上に貢献する、燃焼、熱、エネルギーの制御システムを紹介します。

【統合 HMI システムコーナー】

より安全で快適な自動運転を実現する HMI(Human Machine Interface)技術として、音声や振動などによりドライバーに運転情報を提供するクラリオンのキャビン型モックアップ、スマートコックピットを紹介します。

■会社概要

日立オートモティブシステムズ株式会社

本 社： 東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容： 自動車部品および産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
